

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10580001				
授業名	多文化と異文化理解 B	形態	講義	単位	2
担当教員	原田 晶子				
開講学期	2019年度 後学期	曜日・時限	火曜3限		
授業目的	現代の日本に住むわたしたちには理解しにくい欧米社会の基層文化ともいえるキリスト教文化について、この文化が誕生した中世ヨーロッパの、特に都市に焦点を当てて、一般信者の目線からのみならず当時のキリスト教のあり方を考える。そして授業を通じ、私たちとは異なる時代 (= 中世) と地域 (= ヨーロッパ) という二重の壁を越えて、異文化を理解する。				
授業内容	中世ヨーロッパは、よく「信仰の時代」というレッテルを貼られるが、決して厳格なキリスト教教義が人々の生活を支配していたわけではない。西洋中世の教会の役割や世俗の信徒の信仰のあり方を都市市民の目線から明らかにすることにより、私たちとは異なる時代・地域に生きた人々の価値観を認識する。				
到達目標	現代の日本に生きる私たちとは異なる価値観を理解する方法を学ぶこと。				
ディプロマポリシーとの関連性	<DP1-(4)> 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。				
授業形態	講義形式で行う。できるだけ具体的なイメージが持てるよう、図像や映像資料を積極的に用いる予定である。 授業で不明だったことばを調べてくること、質問や自分の意見を持つことなど積極的な授業態度を評価する。 * 毎回授業の最初に、前回の授業についての簡単な復習テストを行う。 * 授業の進捗や受講者の関心に応じて内容・順序を変更することがある。				
事前・事後学習の所要時間	講義時間30時間 (2時間×1コマ×15週) + 事前事後60時間 (第1～15回目授業までの総合計)				
テキスト	なし。(必要に応じて授業で資料を配布する)				
評価方法	①事後課題とリアクションペーパー、②授業内試験の結果、③授業態度により総合的に評価する。 (注意事項及び履修条件の項目もよく読むこと)				
評価基準	授業態度：25% 事後課題とリアクションペーパー：25% 授業内試験：50%				
試験・レポート等のフィードバック	随時試験の結果は、授業内で返却・解説を行う。				
注意事項及び履修条件	* 毎回、出席をとる。 注意① カードリーダーの登録があっても、リアクションペーパーを提出しなかった場合またはリアクションペーパーに授業の感想や質問を書かなかつた場合は欠席とする。 注意② 授業最初に行う小テストを受けなかった場合は遅刻とする。 * 出席回数が3分の2に満たない学生は、試験の受験資格を失う。 * 試験の回答がインターネットのサイトからの引用であると判断した場合、D判定とする。				
S : 100～90、A : 89～80、B : 79～70、C : 69～60、D : 60未満					

第1回	
事前学習	自分が持っている中世ヨーロッパに対するイメージをまとめてくること。
授業内容	ガイダンス (ガイダンスの後、すぐに授業に入る) ・授業「中世とは何か？」
事後学習	授業ノートを読み返し、整理すること。 授業中に登場した意味が曖昧な単語等を調べること。 今回の授業を通じて生じた疑問、興味を持った内容に関する書籍を読むこと。
参考文献	河原温『都市の創造力 (ヨーロッパの中世2)』岩波書店 松本宣郎編『キリスト教の歴史1』山川出版社 その他、授業の中でも紹介する。

第2回	
事前学習	ロマネスク様式とゴシック様式について調べてくること。
授業内容	中世ヨーロッパの都市に建てられた教会 (建築様式の移行) ロマネスクからゴシックへ 農村から都市へ
事後学習	授業ノートを読み返し、整理すること。 授業中に登場した意味が曖昧な単語等を調べること。 今回の授業を通じて生じた疑問、興味を持った内容に関する書籍を読むこと。
参考文献	

第3回	
事前学習	煉獄について調べてくること。

授業内容	中世ヨーロッパの市民の信仰心（１） 地獄～煉獄～天国：個人の魂の救済
事後学習	授業ノートを読み返し、整理すること。 授業中に登場した意味が曖昧な単語等を調べること。 今回の授業を通じて生じた疑問、興味を持った内容に関する書籍を読むこと。
参考文献	

第４回	
事前学習	（キリスト教における）聖人とは何か調べてくること。
授業内容	中世ヨーロッパの市民の信仰心（２） 聖人崇敬
事後学習	授業ノートを読み返し、整理すること。 授業中に登場した意味が曖昧な単語等を調べること。 今回の授業を通じて生じた疑問、興味を持った内容に関する書籍を読むこと。
参考文献	

第５回	
事前学習	聖母マリアについて調べてくること。
授業内容	中世ヨーロッパの市民の信仰心（３） 聖母マリア信仰
事後学習	授業ノートを読み返し、整理すること。 授業中に登場した意味が曖昧な単語等を調べること。 今回の授業を通じて生じた疑問、興味を持った内容に関する書籍を読むこと。
参考文献	

第６回	
事前学習	黒死病について調べてくること。
授業内容	中世末期の死生観 死の芸術の流行
事後学習	授業ノートを読み返し、整理すること。 授業中に登場した意味が曖昧な単語等を調べること。 今回の授業を通じて生じた疑問、興味を持った内容に関する書籍を読むこと。
参考文献	

第７回	
事前学習	教会のステンドグラスについて調べてくること。
授業内容	市民の教会への寄進（１） 装飾品の寄進
事後学習	授業ノートを読み返し、整理すること。 授業中に登場した意味が曖昧な単語等を調べること。 今回の授業を通じて生じた疑問、興味を持った内容に関する書籍を読むこと。
参考文献	

第８回	
事前学習	「賛美歌」について調べてくること。
授業内容	市民の教会への寄進（２） ミサや賛美歌の寄進
事後学習	授業ノートを読み返し、整理すること。 授業中に登場した意味が曖昧な単語等を調べること。 今回の授業を通じて生じた疑問、興味を持った内容に関する書籍を読むこと。
参考文献	

第９回	
事前学習	ニュルンベルク（ドイツ）について調べてくること。
授業内容	教区教会の社会的役割の違い
事後学習	授業ノートを読み返し、整理すること。 授業中に登場した意味が曖昧な単語等を調べること。 今回の授業を通じて生じた疑問、興味を持った内容に関する書籍を読むこと。
参考文献	

第１０回	
事前学習	ハンザ都市リューベック（ドイツ）について調べてくること。
授業内容	キリスト教的慈善活動（１） 兄弟会
事後学習	授業ノートを読み返し、整理すること。 授業中に登場した意味が曖昧な単語等を調べること。 今回の授業を通じて生じた疑問、興味を持った内容に関する書籍を読むこと。
参考文献	

参考文献	
第11回	
事前学習	ヘント（ベルギー）について調べてくること。
授業内容	キリスト教的慈善活動（2） 施療院
事後学習	授業ノートを読み返し、整理すること。 授業中に登場した意味が曖昧な単語等を調べること。 今回の授業を通じて生じた疑問、興味を持った内容に関する書籍を読むこと。
参考文献	

第12回	
事前学習	修道院について調べてくること。
授業内容	西洋中世の修道院の歴史
事後学習	授業ノートを読み返し、整理すること。 授業中に登場した意味が曖昧な単語等を調べること。 今回の授業を通じて生じた疑問、興味を持った内容に関する書籍を読むこと。
参考文献	

第13回	
事前学習	托鉢修道会について調べてくること。
授業内容	都市に誕生した修道院 托鉢修道会
事後学習	授業ノートを読み返し、整理すること。 授業中に登場した意味が曖昧な単語等を調べること。 今回の授業を通じて生じた疑問、興味を持った内容に関する書籍を読むこと。
参考文献	

第14回	
事前学習	ロンドン（イギリス）について調べてくること。
授業内容	都市におけるキリスト教的宗教儀礼 行列と入市式
事後学習	授業ノートを読み返し、整理すること。 授業中に登場した意味が曖昧な単語等を調べること。 今回の授業を通じて生じた疑問、興味を持った内容に関する書籍を読むこと。
参考文献	

第15回	
事前学習	これまでの授業の内容を復習し、用語・事象について整理しておくこと。
授業内容	まとめ 中世ヨーロッパ都市における教会の役割
事後学習	後期のテストに備えて授業資料と自分でまとめた授業ノートをよく読んでおくこと。
参考文献	

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p><DP-1> 【社会の構成員としての基本的知識・技能・態度】 社会生活で必要となる汎用的技能及び社会の一員として求められる態度や志向性を身に付けているとともに、人類の文化、社会と自然に関する知識について理解している。</p> <p><DP1-(1)> 日本語及び外国語によるコミュニケーション能力を身に付けている。</p> <p><DP1-(2)> 情報通信機器の活用に関する知識・技能を持ち、利用における法令順守の態度を身に付けている。</p> <p><DP1-(3)> 問題を発見し、課題を解決する能力を持ち、立案・実行過程で主体性を持って協働できる態度を身に付けている。</p> <p><DP1-(4)> 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。</p>
-----------	--